

「GUAM+日本」共同プレスリリース【仮訳】

2017年9月20日、ニューヨークにおいて、第72回国連総会にあわせて、第5回「GUAM+日本」外相級会合が開催された。

GUAM側からは、ミヘイル・ジャネリゼ・ジョージア副首相兼外相（GUAM側議長）、アラズ・アジモフ・アゼルバイジャン共和国外務次官、リリアン・ダリイ・モルドバ共和国外務・欧州統合次官、パウロ・クリムキン・ウクライナ外相、アルタイ・エフェンディエフGUAM事務局長が出席した。

日本側からは、河野太郎日本国外務大臣が出席した。

双方は、「GUAM+日本」協力10周年、GUAM協議フォーラム創設20周年及びGUAM各国と日本との間の外交関係樹立25周年に際し、祝意を表明した。GUAM諸国は、GUAM地域における安定と持続可能な開発への日本の貢献を高く評価した。

双方は、特に主権の尊重、領土の一体性や国際的に承認された国境の不可侵といった国連憲章に記されているものを含む、普遍的に認められている国際法の規範や諸原則を再確認した。双方は、法の支配、民主主義、市場経済といった普遍的価値の尊重に対するコミットメントを想起した。これと共に、双方は、地域及び地域間レベルでの平和、安全保障、繁栄及び安定の確保を目的とする「GUAM+日本」協力の重要性を強調した。双方は、将来において引き続き協力分野を拡大し、連帯を強化していくとのコミットメントを再確認した。

双方は、朝鮮半島における最近の情勢について協議し、北朝鮮による最近の核実験及び度重なる弾道ミサイルの発射を最も強い言葉で非難するとともに、北朝鮮に対し、更なる挑発行為を止め、最近採択された国連安保理決議2375号を含む関連する国連安保理決議の下での義務を完全に遵守すること求めた。双方はまた、北朝鮮に対し、拉致問題の早期解決を求めた。

双方は、第3回「GUAM+日本」外相級会合（2015年12月3日、ベオグラード）において署名された「日・GUAM協力プログラム」を実施していく強い意図を表明した。同プログラムは、更なる協力のための確立したプラットフォームであり、貿易・投資、エネルギー、緊急事態、観光、運輸、文化、農業、医療及び環境といった同プログラムに記されている共通の関心分野におけるGUAMと日本との間の協力を一層拡大し、深化させるための新たなプロジェクトの策定及び実施の必要性を強調している。

GUAM諸国は、日本に対し、共通の関心を有する様々な分野に関するワークショップの毎年開催等、「GUAM+日本」協力への日本のコミットメントについて、感謝の意を表した。双方は、観光振興ワークショップ（2017年1月29日－2月4日、東京）のフォローアップの協力として、「ツーリズム

ムEXPOジャパン2017」(2017年9月21日-24日,東京)にGUAM諸国が共同参加することを歓迎した。双方は,本イニシアティブがGUAMと日本との間の文化的な対話の促進と人的交流の更なる発展に寄与することにつき,確信の意を表明した。双方は,明年2月に日本において中小企業振興ワークショップ開催することを決定した。

双方は,「GUAM+日本」協力のみならず,地域的及び地球規模の幅広い課題について,ハイレベルの対話を維持する関心と用意を再確認した。次回の「GUAM+日本」会合の日時及び場所については,外交ルートを通じて決定される。(